

本時のねらい

- 世界の民族衣装を調べ、個人およびグループでまとめる活動を通して、世界の民族衣装の多様性を知る

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- 1人1台端末を活用して、世界の民族衣装について調べ、それぞれの国の気候風土、文化、素材など必要な情報を選択する。
- ロイノート・スクールの共有機能を活用し、1人1人が分担して調べたものを、同時にまとめる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- プロジェクタ
- ロイノート・スクール（共有ノート、提出箱の回答共有機能等）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの授業（日本の衣文化）を振り返りながら、衣装には、その国の気候風土や素材、宗教、文化が含まれていることを確認する。 ○本時のめあてを確認する。 「世界の民族衣装の多様性を知ろう」 ○ケニアの民族衣装「カンガ」を例に、調べたものについて、2枚のカードにどのようにまとめていくか理解する。 【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・2枚のカード「民族衣装の外観と名称」「その国の気候風土や文化」の例を、配信することで、生徒1人1人が学習の途中で確認したり、拡大したりすることができる。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○班ごとに分担を決め、ロイノート・スクールの共有機能を用いて2枚のカードに情報をまとめる。 ・サムネイルとして使用する民族衣装の画像を1枚目のカード「民族衣装の外観と名前」にまとめる。 ・調べる内容を分担しながら、2枚目のカード「その国の気候風土や文化」にまとめる。 【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・共有機能を活用することで、個々に調べた情報を、班でシームレスにまとめていくことができる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○民族衣装について調べ、まとめる活動を通して知ったことや感想等を文章で記述する。 ○次の時間、各班でまとめたカードを全体で共有することを伝える。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で共有することで、他者の学びやまとめ方を知ることができ、授業後も他の多くの民族衣装について知る機会を設けることができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】カードのまとめ方の説明



【写真2】世界の民族衣装について、一人一人が分担して調べ、まとめている様子



【写真3】各班で作成した2枚目のカード

児童生徒の反応や変容

- ・世界各国の特徴的な民族衣装を自分たちで調べることで、世界の衣文化について積極的に知ろうとする姿が見られた。
- ・他の班が編集しているカードを、必要に応じて見て、参考にしながら学習を進める様子が見られた（他者参照）。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・1枚目のカードと2枚目のカードの内容を分けることで、1枚目のカードを全体共有すると、2枚目の内容についても興味をもって知ろうとする子どもたちの様子が見られた。
- ・1枚目と2枚目を作成する活動時間を明確に分けることで、それぞれのカードについて集中して取り組むことができた。